

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 3月29日

事業所名： 合志市社協れんがの家 保護者等数 28（児童数 30） ・ 回答数 25 ・ 割合 89.2 %

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	0	5	・活動の指しているのがわかりません。保育園なのか、公園等での遊びの場所、地域の活動の場を設けているのか？	基準以上の面積を確保しています。子どもの特性、活動内容検討し、にじの部屋、スペースれんが、相談室、このみ坂保育園遊戯室、近隣の公園、ふれあい館交流ホール等活用しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2	0	3	・専門職的な職種（作業療法士など）がもう少し充実していると、尚良いかと思えます。	指定基準配置(2名)に加え、保育士、作業療法士専門職を配置しています。専門職としての評価については、わかりやすく保護者へ発信できるようにしていきます。
	③ 生活空間は、子どもにわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	1	0	3		環境整備については、パーテーション等のツールを活用し、適切な支援につながるように、こどもさんに応じて空間づくりを行っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	0	0	2		れんがの家では、感染対策委員会を設置し、会議、研修等を行っています。また、流行している感染症の状況を把握し、委員会が率先して対策を行い、事業全体で感染予防ができるように努めています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	24	0	0	1		担当者会議、モニタリング、面談等で保護者からのニーズ、こどもさんが抱えている困りごとを、児発管、担当職員で把握した内容をもとに、職員全体で個別支援会議で検討し、個別支援計画書を作成しています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	0	1		乳幼児発達スケール、JSI-Rを利用し、作業療法士、保育士が多面的に関り、アセスメントを行っています。一人ひとりに応じた課題を分析し、それぞれの目標、家族ニーズに合わせた支援内容を設定し、個別支援計画を作成しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	0	0	1		活動の目的が、個別支援計画に沿っているか、モニタリング時期に限らず、毎朝のミーティングと毎日の振り返り、個別支援会議で確認しながら、こどもさんの発達状況に応じた支援を行っています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	0	0	2		・れんがの家として、年間行事計画を立て、活動については、個別支援計画、こどもさんの成長の確認を行い、経過をみてステップアップしながら手だてをかえて取り組んでいます。 ・活動が固定化しないように、スタッフで立案を行っています。その為の研修にも参加しています。 ・歯科教室・外部講師による個別支援も今年度行いました。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	2	0	7		コロナ5類にはなりませんが、年間通して感染症の流行がありましたので、交流の機会を設ける事ができませんでした。今後は、こどもさんの体調にあわせて、同じ場所で過ごす機会をもつ事を検討していきます。
⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0		契約時、年度初めの事業説明会や面談時に、丁寧に説明を行っています。	
⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	0	0	0		・面談にて個別支援計画の説明を行っており、同意を得るように努めています。 ・保護者の就労状況等にも考慮し、極力面談の時間を設けています。	
⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	20	0	1	4		・定期的に、親子れんが、保護者会、療育参観、保護者面談等を行い、保護者同士が顔みしりなる場、こどもの療育場を知り、保護者の学びの場として、家族支援を行っています。 ・今年度は、親子参加型の「ミュージックケア」の場を設けました。	
⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	0	0	0		今年度は、連絡帳のICT化を行いました。その日の活動の様子も、写真等を添付し、お伝えする事も出来るようになりました。今後も、保護者との共通理解を深め、また、送迎等を通して、園との連携も図っていきます。	

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	0	0	0	保護者面談も定期的に行っています。助言も随時させていただいています。今後も、適切な助言ができるように、職員のスキル向上に努めていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	0	0	2	・まだ参加出来ていませんが、タイミングが合えば是非参加したと思っています。 ・保護者同士が情報共有できる懇談会等を開催しています。年齢毎や、ニーズに応じたテーマを設定した内容を考え、今後も開催していきます。 ・主に、土曜日に、親子参加型の活動計画を立てています。今後は、たくさんの方に参加していただけるように、年度初めに、どのタイミングが参加希望か、アンケートをとらせていただきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	0	0	2	相談があった場合、児発管を主に迅速に対応するよう努めています。連絡帳はICT化になりましたが、連絡帳でのやりとりや、電話にて即日対応しています。また必要な場合、れんがの家として、また社協内で検討する体制を整えています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0	・連絡ツールとして、時間外にお休みの連絡ができるものが(返信は営業日で良いので)あると、便利だと思います。仕事上の電話対応が難しい事もあるので、検討いただけるとありがたいです。 連絡帳アプリを活用していただくよう今後もお願いします。今後も、ご意見を参考にさせていただき、連絡体制について検討していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	2	0	1	・月1回「れんがだより」を発行しています。日頃の活動の様子やイベント等の様子をお伝えしています。今後も内容の充実に努めていきます。 ・今年度は、連絡帳ICT化により、毎日の活動の様子をより詳しくお伝えできるようになりました。 ・合志市社会福祉協議会では、毎月「ほっとライン」を発行しています。合志市社協に関するお知らせ、また、今年度は、障がい者支援センター「地域活動支援センター」「障がい者芸術展」の様子も掲載しました。 ・自己評価の結果は、年度始めの事業説明会で報告させていただき、合志市社協ホームページに掲載させていただきます。
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	0	0	0	・契約時、年度初めに、「個人情報取り扱い業務概要説明書」を、各家庭より同意をいただいています。 ・全職員についても、適切な扱いができるように、マニュアルを整備し、職員がいつでも閲覧できるようにし、危機管理意識も高めています。 ・委員会が率先して、年1回以上の職員研修を実施しています。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	0	0	5	・れんがの家では、安全、防災、感染、権利擁護委員会を設立しています。安心して利用いただけるように、委員会が率先して、マニュアルの整備、また、年2回以上の会議、職員研修を実施しています。 ・今年度も、不審者対応訓練を行いました。また、センター敷地内に、防犯カメラ、防犯チャイムを設置し、全職員の危機管理意識も高めています。 ・契約時と、年度初めの事業説明会でも、避難時のマニュアル、LINEを活用しての避難発信を保護者にも周知させていただきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1	0	8	・防災委員会が率先して、年2回以上の避難・防災訓練職を行っています。今後も、非常災害時に備えて、れんがの家として、計画的に訓練を実施していきます。 ・児童発達支援事業所としても、非常時緊急対応マニュアルを整備、こどもさんが安全、安心して利用していただけるように努めています。 ・他県で、災害が発生した時は、厚労省、熊本県等の指導等も随時あっています。その都度、マニュアルの見直しを行い、全職員にも周知し、意識を高めていきます。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	24	0	0	1	・お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。今後も、こどもさん、保護者の気持ちに寄り添い、通所を楽しみに、色々な活動にチャレンジしてもらいたいと考えています。
満足度	㉓	事業所の支援に満足しているか	25	0	0	0	・保育園よりれんがさんがお活動の方が、帰ってから話してくれることが多いです。 ・利用後、とても機嫌が良いので活動が楽しいのだろうと感じています。 ・毎回楽しみにしています。初めての目標は、まず慣れる楽しく過ごす事でしたので、これからは、少しずつ色々な体験等を通して、学びができると思います。 ・ありがとうございます。今後も、職員間で連携を図り、研鑽を重ね、こどもさんが安心して通え、保護者さんとも育ちを喜びあっていきたいです。 ・今後も、ご意見、ご要望等ありましたら、遠慮なく発信していただき、職員一同でより良い支援ができるように考えていきます。

・常におもちゃを手にしていないと安心しないというこだわりがありますが、活動に参加できるように、専用のおもちゃ入れを用意していただくなど、細やかな対応、気配りに大変感謝しております。今後共よろしくお願い致します。

・皆さんとても優しく雰囲気も良く、親にとってもとても話しやすい人達ばかり安心していきます。

- ・いつも良くしていただき、とても喜んで行っています。ICT活用されて、より便利になりました。
- ・いつも大変お世話になり本当にありがとうございます。子どもも、通所することをとても楽しみにしています。これからもよろしくお願い致します。
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも子供が楽しく通っている姿を見て、こちらも嬉しく思います。通うのもあと少しになりましたが、最後までよろしくお願い致します。
- ・いつもありがとうございます。出来れば昼食（食育）の再開と、一日通して預けられる療育があると安心して預けられるのでありがたいです。